



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231  
 兼企業不動産企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,246	—	172	—	180	—	80	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 47百万円( —%) 24年3月期第1四半期 一百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.07	—
24年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、平成24年3月期第1四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	24,329	9,421	37.6
24年3月期	25,232	9,487	36.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 9,151百万円 24年3月期 9,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,800	—	280	—	280	—	162	—	14.27
通期	32,500	—	1,350	—	1,350	—	777	—	68.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、対前期および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、3 ページ「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	12,400,000株	24年3月期	12,400,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,000,780株	24年3月期	1,000,770株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	11,346,417株	24年3月期1Q	11,191,610株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、依然として厳しい状況にあるなかで、復興需要等を背景に、設備投資は持ち直しの動きが見られ、個人消費も底堅く、緩やかに回復の動きが見られたものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性が高まり海外景気の下振れリスクや国内の電力供給の制約、デフレの影響など不透明な状況にあります。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るように努めました結果、売上高は、72億46百万円となりました。

営業利益は、仕入コストの上昇などがあり、1億72百万円となりました。

経常利益は、営業外収支で8百万円収益が上回ったため1億80百万円となりました。

四半期純利益は、投資有価証券評価損41百万円の計上などがあり、80百万円となりました。

当第1四半期のセグメント別の状況は次のとおりです。

資源・金属素材関連では、全般的な資源価格の上昇などのため、関連部門の売上高は33億27百万円となり、営業利益は、1億18百万円となりました。

産機・建機関連では、建機商品（シールド掘進機等）が低調であったものの、民間企業向け各種ポンプ類の販売は比較的堅調に推移したため、関連部門の売上高は12億64百万円となり、営業利益は1億49百万円となりました。

環境設備関連では、水砕スラグ設備関連商品の大口販売予定が無かったため、関連部門の売上高は2億18百万円となり、営業利益は27百万円となりました。

化成品関連では、合成樹脂の主要先である電線、住宅、半導体関連が円高などにより生産低調の影響を受けているものの、化成品が国内外で堅調に推移しているため、関連部門の売上高は24億3百万円となり、営業利益は39百万円となりました。

不動産賃貸関連では、グループとして、空室状況の改善等、情報の共有化を図り、関連部門の売上高は31百万円となり、営業利益は4百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、243億29百万円となり、前会計年度末に比べ9億2百万円減少しました。

## 資産

流動資産は、157億48百万円となり、前会計年度末に比べ9億73百万円減少しました。これは主に、商品及び製品の9億27百万円の減少等によるものです。

固定資産は、85億81百万円となり、前会計年度末に比べ71百万円増加しました。

これは主に、投資有価証券で1億94百万円、その他で85百万円の減少等がありましたが、土地の取得による3億30百万円の増加等によるものです。

## 負債

流動負債は、107億3百万円となり、前会計年度末に比べ8億18百万円減少しました。

これは主に、短期借入金で20億43百万円の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金で20億79百万円、その他（未払金、未払法人税等）で5億88百万円の減少等によるものです。

固定負債は、42億5百万円となり、前会計年度末に比べ16百万円減少しました。

これは主に、長期借入金58百万円の減少等によるものです。

#### 純資産

純資産では、94億21百万円となり、前会計年度末に比べ66百万円減少しました。

これは主に、利益剰余金で33百万円、株式等評価差額金で30百万円の減少等によるものです。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、復興需要等を背景に、景気回復の動きが期待される場所ですが、欧州政府債務危機を巡る不確実性が高まり、これらを背景とした海外景気の下振れ等により、国内景気が下押しされるリスクが存在し、電力供給の制約やデフレの影響が依然残っている状況にあるなか、当社の資源・金属素材関連で扱う各種商品は国際的市況の変動により業績に影響を及ぼす可能性があります。また、産機・建機関連及び化成品関連で取扱う商品は、国内製造業を主体としたものであり、国内外の経済動向、設備投資動向の変化により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当社及び連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,051	1,884
受取手形及び売掛金	9,815	9,944
商品及び製品	4,428	3,501
仕掛品	15	86
原材料及び貯蔵品	19	20
繰延税金資産	277	261
その他	132	68
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	16,722	15,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,215	3,240
減価償却累計額	△1,630	△1,651
建物及び構築物（純額）	1,584	1,589
機械装置及び運搬具	410	410
減価償却累計額	△337	△343
機械装置及び運搬具（純額）	72	66
土地	4,399	4,730
その他	1,813	1,765
減価償却累計額	△1,755	△1,713
その他（純額）	57	52
有形固定資産合計	6,114	6,439
無形固定資産		
のれん	128	122
その他	129	133
無形固定資産合計	257	255
投資その他の資産		
投資有価証券	1,437	1,243
繰延税金資産	152	183
その他	569	483
貸倒引当金	△22	△23
投資その他の資産合計	2,137	1,886
固定資産合計	8,509	8,581
資産合計	25,232	24,329

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,111	5,032
短期借入金	2,061	4,105
1年内返済予定の長期借入金	311	283
1年内償還予定の社債	680	680
未払法人税等	563	63
賞与引当金	275	108
その他	518	430
流動負債合計	11,522	10,703
固定負債		
社債	2,274	2,274
長期借入金	915	857
繰延税金負債	435	431
退職給付引当金	505	473
その他	91	168
固定負債合計	4,221	4,205
負債合計	15,744	14,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,623	1,623
利益剰余金	6,018	5,984
自己株式	△306	△306
株主資本合計	9,188	9,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	△3
繰延ヘッジ損益	4	△0
その他の包括利益累計額合計	32	△3
少数株主持分	266	269
純資産合計	9,487	9,421
負債純資産合計	25,232	24,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,246
売上原価	6,274
売上総利益	971
販売費及び一般管理費	799
営業利益	172
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	11
受取家賃	9
その他	10
営業外収益合計	33
営業外費用	
支払利息	16
保険解約損	5
その他	2
営業外費用合計	24
経常利益	180
特別利益	
固定資産売却益	9
特別利益合計	9
特別損失	
投資有価証券評価損	41
その他	0
特別損失合計	41
税金等調整前四半期純利益	148
法人税等	63
少数株主損益調整前四半期純利益	85
少数株主利益	4
四半期純利益	80

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益		85
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△29
繰延ヘッジ損益		△5
持分法適用会社に対する持分相当額		△2
その他の包括利益合計		△37
四半期包括利益		47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		44
少数株主に係る四半期包括利益		3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第1四半期累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	その他 (注)	合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連			
売上高								
外部顧客への 売上高	3,327	1,264	218	2,403	31	7,245	0	7,246
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,327	1,264	218	2,403	31	7,245	0	7,246
セグメント 利益	118	149	27	39	4	339	0	339

- (注) 1. その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に事務代行手数料であります。
2. 平成24年1月に上記既存3事業の更なる拡大、深化および新たな収益基盤の確立を図るべく、主たる事業として「合成樹脂・油脂・化学品関連事業」を有するイズミ株式会社の株を取得し、連結子会社としましたので、「化成品関連事業」を追加いたしました。また、イズミ株式会社は不動産賃貸収入を有しており、加えて平成23年10月に竣工した当社本社ビルの一部を賃貸していることから、「不動産賃貸関連事業」を追加いたしました。したがって、平成24年4月以降の新報告セグメントは、「資源・金属素材関連」、「産機・建機関連」、「環境設備関連」、「化成品関連」および「不動産賃貸関連」としてあります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	339
その他の区分の利益	0
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△167
四半期連結損益計算書の営業利益	172

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。